

## 9 剣道競技

- 1 期 日 令和5年11月12日(日) 開会式 10:00 (受付完了9:20、指導者会議9:30)  
 2 会 場 富山県西部体育センター  
 3 参加資格 令和5年度日本スポーツ少年団登録団員・指導者で、市町村スポーツ少年団から推薦された団員(小学4～6年生、中学1～3年生)・指導者であること。

### 4 参加区分

(1)団体戦 団体戦のチームが編成できる限り、小学生の参加者の中から団体戦チームを編成し、必ず出場すること。

①チーム構成の区分は、先鋒が小学校4年生の男子又は女子、次鋒及び副将が小学校5・6年生女子、中堅及び大将が小学校5・6年生男子とする。

②4年生の男子又は女子は、該当者がいない場合は次鋒から大将までの上位の学年区分に出場してもよいが、男女の性別区分を変更して出場することはできない。5・6年生の男女は、下位の学年(4年生)区分である先鋒に出場することはできない。

③団体戦は、3名から参加することができる。

④選手交代は参加者の中から行う。指導者会議までに所定の報告用紙を大会本部まで提出すること。指導者会議以降の選手交代は認めない。交代した選手は個人戦には出場できない。

### (2)個人戦

区 分	参加者数	指導者
小学校4年生男女の部	※参加者数は、P16の出場枠数とおおり。	5名以内 (1名でも可)
小学校5・6年生男子の部		
小学校5・6年生女子の部	※団体戦に出場する選手は、個人戦には出場できない。	
中学校1～3年生男子の部		
中学校1～3年生女子の部		

- 5 競技規則 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則及び細則並びに新型コロナウイルス感染症が終息するまでの暫定的な試合・審判法による。

### 6 競技方法

#### (1)全国スポーツ少年団交流大会予選

小学生の団体戦及び中学生の個人戦は、以下の要領で1位・2位・3位を決定(3位決定戦は行わない)する。小学生の団体戦1位のチームと、中学生の個人戦男女それぞれ1位の選手は、第46回全国剣道交流大会(群馬県)へ富山県代表として出場する。

①小学生の団体戦は、予選リーグ及び決勝トーナメント方式により順位を決し、試合は3分間3本勝負とする。予選リーグ及び決勝トーナメントともに、時間内に勝敗が決しない場合は引き分けとする。また、勝者数、本数等が同数の場合は、任意の代表選手1名により、3分間1本勝負、延長戦は2分区分切りで、2回の延長の後小休止し、更に2回の延長後は面を外しての休息・給水をし、それを繰り返す。

②中学生の個人戦は、トーナメント方式により順位を決し、試合は3分間3本勝負とする。ただし、時間内に勝敗が決しない場合は、延長戦を2分区分切りで、2回の延長の後小休止し、更に2回の延長後は面を外しての休息・給水をし、それを繰り返す。

#### (2)小学生個人戦(3位決定戦は行わない。)

①学年別(5・6年生は男女別)トーナメント方式により、1位・2位・3位を決定する。

②試合は2分間3本勝負とする。時間内に勝敗が決しない場合は、1分間1本勝負の延長戦を行うが、延長戦においても勝敗が決しない場合は判定で勝敗を決する。準決勝以降の延長戦は、1分区分切りで、2回の延長の後小休止し、更に2回の延長後は面を外しての休息・給水をし、それを繰り返す。

- 7 組み合わせ抽選 団体戦及び個人戦の組み合わせについては、一般財団法人富山県剣道連盟において決定する。

- 8 参加申込期限 令和5年10月13日(金)必着

- 9 その他 参加者は、剣道具の垂中央に黒又は紺色に白字で、市町村名(横書き)と姓(縦書き)を明記した布製の名札を必ず着けること。また、面マスクを着用しない場合は、口の部分を覆うシールドを着用すること。